



平成 21 年 1 月 13 日

各 位

東京都新宿区揚場町 2 番 1 号
大興電子通信株式会社
代表取締役社長 高橋正道
(コード番号 8023 東証第二部)
問合せ先
執行役員管理本部副本部長 荻田 修
(TEL 03-3266-8111)

平成 21 年 3 月期第 3 四半期末の投資有価証券評価損に関するお知らせ

当社が保有する投資有価証券の一部について、昨今の株式市場の動向を勘案し、平成 21 年 3 月期第 3 四半期末において減損処理による投資有価証券評価損を計上する必要が生じたのでお知らせいたします。

なお、四半期会計期間末における投資有価証券の減損処理につきましては、洗替法を採用しているため、平成 21 年 3 月期末日の時価により、評価損の計上額が変動する場合、もしくは評価損を計上しない場合がございます。

記

1. 平成 21 年 3 月期第 3 四半期末の投資有価証券評価損の総額
(個別)

(A)平成 21 年 3 月期第 3 四半期末の投資有価証券評価損の総額	118 百万円
(B)平成 20 年 3 月期の純資産の額 (A/B×100)	3,942 百万円 (3.0%)
(C)最近 5 事業年度の経常利益の平均額 (A/C×100)	112 百万円 (105.4%)
(D)最近 5 事業年度の当期純利益の平均額 (A/D×100)	75 百万円 (157.6%)

(連結)

(A)平成 21 年 3 月期第 3 四半期末の投資有価証券評価損の総額	118 百万円
(B)平成 20 年 3 月期の純資産の額 (A/B×100)	4,177 百万円 (2.8%)
(C)最近 5 事業年度の経常利益の平均額 (A/C×100)	135 百万円 (87.5%)
(D)最近 5 事業年度の当期純利益の平均額 (A/D×100)	97 百万円 (121.0%)

(ご参考) 当社の第 3 四半期末は、12 月 31 日であります。

2. 今後の見通し

上記投資有価証券評価損は、平成 21 年 3 月期第 3 四半期連結決算(平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日)において特別損失として計上する予定です。なお、平成 21 年 3 月期第 3 四半期連結決算については現在集計中でありますので、業績見通しにつきましては明らかになり次第必要に応じて開示いたします。

以 上